

Ⅲ. 組織基盤の強化

(1) 効果的な広報・PR活動の実施

○機関紙「大商ニュース」の発行

本会議所の活動を広報するとともに、経営に役立つ情報を会員に提供するため、機関紙「大商ニュース」を20回発行した。大阪・関西の活性化に向けた喫緊の課題への対応をはじめ、「たんと繁盛 大阪アクション」に関する事業を特集し、その成果を共有した。会員の事業への参画を促進するため、利用会員や関係者の生の声を紹介する「がんばる大商の会員さん」「初めまして！新入会員です」「会員情報ブラザ」「日本一明るい企業情報」を連載した。

○「たんと繁盛 大阪アクション」に関するシンポジウムの開催

中期計画「たんと繁盛 大阪アクション」の推進に向け、シリコンバレーや深センの取り組みに学び大阪・関西のイノベーション・エコシステムを考える、全3回(9・11・3月)の連続シンポジウム「イノベーション創出力を競う世界の都市」を㈱日本経済新聞社と共催した。

[成果・実績] 延べ399人が参加した。



3月、シンポジウム「イノベーション創出力を競う世界の都市」を㈱日本経済新聞社と共催し、大阪・関西のイノベーション・エコシステムをテーマに討論が行われた。

○Eメールを活用した広報(大商メールステーション)とホームページの拡充

企業や個人の関心事項に応じて本会議所事業を効果的に案内するため、「大商メールステーション」を運営し、Eメールによる案内配信サービスを実施した。ホームページでは、本会議所事業のタイムリーな情報提供を行った。

[成果・実績] 「大商メールステーション」の登録者数は2万3,062人、ホームページの年間総ページビューは1,990万8,188件になった。(URL=<http://www.osaka.cci.or.jp>)

○大阪活カグランプリの実施

大阪のチャレンジ精神、パイオニア精神の発信・高揚を目的に、大阪の産業・地域経済に貢献した法人・団体・個人を会頭名で表彰する「大阪活カグランプリ」を実施した。マスコミ各社からなる選考委員、本会議所役員・議員から推薦があった34候補から選考委員会で14件に絞り込んだ上で、投票を行い、12月にグランプリを選出した。

[成果・実績] グランプリに「2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致活動」、特別賞に「株式会社木幡計器製作所」を選出し、12月の会員交流大会で表彰した。



12月、大阪活カグランプリ2018に「2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致活動」、特別賞に「株式会社木幡計器製作所」を選出し、表彰した。

(2) 3万会員の維持に向けた会員満足度向上運動の展開

○会頭の企業訪問

尾崎裕本会議所会頭は会員企業を訪問し、現場の関係者と意見交換した。12月に、工場だったスペースを活用し、イノベーションを目指すオフィスをつくった老舗部品メーカー(北区)を訪問し、産学連携によるオープンイノベーションについて意見交換した。また千日前道具屋筋商店街では、インバウンドの現状をヒアリングするとともに、キャッシュレスの活用状況を視察した。

[成果・実績] 会員企業等3カ所を訪問した。



12月、尾崎裕本会議所会頭は、金物店(千日前道具屋筋商店街)を訪問した。

○会員満足度向上運動の推進

事業の価値を共有し、会員満足度を向上することによって、安定的な3万会員体制を維持するために、会員満足度向上運動を展開した。具体的には事務局の会員訪問活動や「会員交流大会」「新会員の集い」をはじめとする交流事業を開催したほか、「職員の会員増強力向上のための研修」を2回開催した。

[成果・実績]新規加入件数合計2,483件に対して、退会件数が3,638件となった。新規加入件数の内訳は法人会員1,200件、団体会員46件、個人会員686件、特別会員551件。

○会員訪問活動の実施

事業利用の促進と本会議所への満足度調査を目的に、入会歴の浅い会員等を主対象に会員訪問活動を実施した。本会議所の活動や事業への意見を聞き、事業運営に反映するとともに、講演会・セミナー・交流会等の参加及びサービスの利用を促進した。

[成果・実績]事務局職員の会員訪問件数は4,031件(目標4,000件)。平成15年度から実施している会員訪問活動による訪問累計件数は、延べ6万7,634件に達した。また、会員の平均満足度は5段階で3.84であった。

(3) 組織基盤の強化に向けた交流促進

○女性会の活動

本会議所会員企業の女性経営者の資質向上と会員相互の交流を目的に、会員自らが講師となり自らの半生や経営者としての経験を発表する「経営事例発表会」の開催や海外女性経営者との交流を図る「中国視察団」の派遣等、活発な事業を展開した。また、9月に創立60周年記念式典を実施し、全国女性会会員・来賓など610人が参加した。さらに広報誌を年2回発行し、本会活動のPRに努めた。

[成果・実績]会員数は235人になった。「経営事例発表会」には延べ150人、視察研修会には28人が参加した。



9月、創立60周年記念式典を開催し、610人が出席した。

○定例朝食懇談会の開催

本会議所役員・議員を中心に会員企業の経営者・経営幹部を対象に、早朝の時間を活用した「定例朝食懇談会」を開催した。

[成果・実績]国際情勢、企業経営、医療、AI、モノづくり等幅広い分野から講師を招聘、10回開催し、延べ1,028人が参加した。

(4) 本会議所創立140周年記念事業の実施

○会員交流大会の開催

創立140周年を記念し、会員相互の交流と親睦を図る「大阪商工会議所創立140周年記念会員交流大会」を12月に開催した。組織基盤強化貢献者への感謝状贈呈のほか、講演や交流会を行った。

[成果・実績]会員交流大会には、役員・議員、会員415人が参加した。

○記念事業の実施

初代会頭・五代友厚ゆかりの世界地図「新訂万国全図」の解説板を付した記念碑を、鹿児島市内の五代友厚誕生地に設置し、鹿児島市に寄贈した。5月に、尾崎裕本会議所会頭はじめ役員・議員一行が鹿児島市を訪れ、贈呈式を実施した。また8月に、本会議所が所蔵する「五代友厚関係文書」の目録検索ホームページを公開したほか、11月には、大阪市内の主要ターミナルに、初代会頭の言葉で、本会議所創立の精神やその意思を未来につなぐメッセージを、広告掲出した。

[成果・実績]WEBアクセス数(ページビュー数)は833件。



5月、初代会頭・五代友厚ゆかりの世界地図「新訂万国全図」の解説板を付した記念碑を生誕地に設置、鹿児島市に寄贈した。